

だいじゅうごかい
第十五回はつらつ大会（本人大会）（備北圏域大会 庄原会場）決議文

◎ 私たちは、それぞれの地域で仲間をつくり、つながりあい、力を合わせて色々なことを学び、遊び、働き、安心して豊かにくらしていけるように努力していきます。

また、障害のあるなしにかかわらず、思いやりとやさしい心で一緒に生活できる社会をめざして、次のことを決議します。

① 本人の社会参加について

- ・ 育成会、家族、行政、支援者のみなさん、私たちの思いと希望を聞いてください。
- ・ 私たちに関係することを決めるときは、私たち本人も交えてください。
- ・ 私たちに関係のある情報は、私たちにも必ず教えてほしいし、情報の説明をわかりやすくしてください。

② 地域社会とサービスについて

- ・ 住む町や障害の程度に関係なく必要とする福祉サービスは平等に利用できるものにしてほしいです。
- ・ 移動支援利用について制限を設けないでください。
- ・ ショートステイ（短期入所）を利用できるところを増やしてほしいです。

③ 仕事と職場について

- ・ 障害者をもっと働きやすい場所や仕事を増やしてください。働きやすい職場環境をつくってください。

④ 支援、相談について

- ・ 私たちは自分たちでできることは自分たちで努力します。
- ・ 自分たちでできないことや、なやんでいる時に、気軽に話せる人や場所を身近なところに増やしてほしいです。

⑤ 住むところについて

- ・ 手帳の程度に関係なく、公営住宅への入居を優先してください。
- ・ ひとり暮らしの人にも家賃補助を出してください。
- ・ グループホームに入っても年金内で十分に生活していけるように補助してください。

⑥ 年金、療育手帳について

- ・ 療育手帳の程度に関係なく、誰でも年金をもらえるようにしてください。
- ・ 国や政治は私たちのことも考えて、年金額を増やしてください。
- ・ 療育手帳を丈夫なものにしてください。

⑦ 自分たちのことについて

- ・ 本人活動をまだ知らない地域や仲間のために本人活動を広め、活発にしていきたいです。
- ・ どんなときにもチャレンジ精神を忘れないで、自分のことだけでなく仲間たちの立場にたった発言と行動をします。
- ・ 福祉サービスのことを知らない仲間たちがたくさんいます。皆さんと一緒にぜひ届けましょう。
- ・ できるところは自分たちでがんばります。できないところは支援をしてください。

⑧ 災害について

- ・ 地域、職場で障害者の人たちにわかりやすい避難訓練をいっしょに練習をしてほしいです。
- ・ 障害のある人たちが災害や地震などにあったときのために、わかりやすい情報（防災マップ、標識、表示など）と対策方法が届くようにしてください。
- ・ 防災に関する対策会議などに障害のある人も交えてください。
- ・ 福祉避難所を設けてください。

⑨ いじめ、差別、虐待について

- ・ いじめ、差別、虐待のない安心した生活ができる社会にしたいと思います。
- ・ 日常生活で不安なことがあるとき、すぐにSOSを出せる体制をつくってください。

⑩ 医療費について

- ・ 障害の程度に関係なく、医療費を免除してください。

私たちの願いが多くの人に伝わり、実現ができることを信じて・・・以上、決議します。

平成28年10月9日

だいじゅうごかい
第十五回はつらつ大会（本人大会）（備北圏域大会 庄原会場）参加者 一同